

# 自己免疫性膵炎における超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA)を使用した診断能の観察研究 公開原稿

## 1. 研究対象

2009年12月1日から2016年5月31日までの間に札幌医大附属病院消化器内科において自己免疫性膵炎が疑われ、EUS-FNAを行なった患者さんを対象とします。

## 2. 研究の概要

自己免疫性膵炎には1型と2型の2亜型に分類されます。1型、2型自己免疫性膵炎はともに限局性腫大を示すことが多く、その場合は組織学的に膵がんとの鑑別が推奨されています。現在まで当科において膵がんとの鑑別を目的に自己免疫性膵炎が疑われた患者さんにEUS-FNAを行ってきました。本研究ではこれらの患者さんの検査結果を調査し、EUS-FNAを使用した自己免疫性膵炎の診断の可能性を調査します。

## 3. 研究の意義

自己免疫性膵炎には1型と2型の2亜型に分類されます。1型は血清IgG4の上昇と特徴的な病理組織所見を有します。2型は一般的に血清IgG4は上昇せず、2型特有の病理組織所見を有します。1型、2型自己免疫性膵炎はともに限局性腫大を示すことが多く、その場合は組織学的に膵がんとの鑑別が推奨されています。現在、自己免疫性膵炎の診断基準としては自己免疫性膵炎臨床診断基準2011や国際コンセンサス診断基準(ICDC)が使用されていますが、いずれも膵組織診断はコア生検か切除標本での検討とされており、通常EUS-FNAでの診断は確立していません。本研究ではEUS-FNAが膵がんの否定のみならず、自己免疫性膵炎の診断に寄与する可能性を検討し、今後の診断能向上に生かす予定です。

## 4. 研究の目的

当科において自己免疫性膵炎を疑いEUS-FNAを行った患者さんの検査内容、検査結果、合併症、転帰を明らかにすることを目的としています。

## 5. 研究の方法

本研究は2009年12月1日以降に対象の患者さんの診療録より検査内容・結果についての必要な情報を収集します。情報収集の作業は医師が行います。この作業で収集した情報を通じて対象となる患者さんのEUS-FNAの意義を検証します。

## 6. 研究期間

病院長承認日～平成29年5月31日

7. 予定症例数

約 20 例

8. 個人情報保護に関する配慮

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申して出てください。

**本研究に関する問い合わせ先:**

研究責任者: 本谷 雅代

札幌医科大学 消化器・免疫・リウマチ内科学講座

〒060-8543 札幌市中央区南 1 条西 16 丁目

TEL: 011-611-2111 (内 3271: 内科外来)

FAX: 011-611-2282